

おしえて！ エス デ ィ ー ジ ー ズ

SDGs



— 持続可能なまちづくりのために —

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地球上の誰一人として取り残さない持続可能な開発目標「SDGs」。

SDGsには全部で17のゴールと169のターゲットがあります。これを達成するために取り組むのは、国や自治体、企業、団体、そして私たちです。

「私たちにできること」を少しずつでも続けていくことが大切です。



10 人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する

ゴール10のターゲットは10項目あり、その中の1つに「平等の拡大を漸進的に達成する」とあります。

世界には、さまざまな不平等があります。

先進国と開発途上国、さらに後発開発途上国(開発途上国の中でも特に開発が遅れた国)。同じ国や地域の中でも、豊かな人と貧しい人、男性と女性、障がいがある人、人種、民族、宗教の違い。これらの違いにより偏見や争い、貧富の格差が広がっていることが現状です。

これらの違いがもたらす不平等を減らすためには、みんなに違いがあることが当然だと理解し、相手を認めることが大事です。世界中を人々が行き来できる時代だからこそ、さまざまな人たちが共に働き、共に生活することができる社会を考える必要があります。



11 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

ゴール11のターゲットは10項目あり、その中の1つに「災害に対する強靭さ(レジリエンス)を目指し、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う」とあります。

地震や台風などの自然災害が起こったら、電気やガス、水道といったインフラが途絶えてしまったら、私たちの生活はどうなるのでしょうか。

ターゲットに出てくる「強靭さ(レジリエンス)」という言葉は、壊れない強さではなく、壊れたとしてもいち早く元の状態に回復できる力を意味しています。

この他、誰もが公共交通機関や公共スペースが利用できること、自然・文化遺産の保護や保全することなどもターゲットとなっています。

住み続けられるまちづくりを実現するためには、住んでいる一人ひとりが「まちづくり」に参加することが重要となってきます。

私たちにできること

- ・世界中で起きている出来事に関心を持つ
- ・フェアトレード(公平で公正な取引)製品を購入する など

町の主要な事業との位置づけ

- ・人権擁護事業 など

私たちにできること

- ・非常持出品や備蓄品の準備、確認
- ・地域や行政の活動に参加する など

町の主要な事業との位置づけ

- ・災害対策事業
- ・タクシー利用料金助成制度事業 など